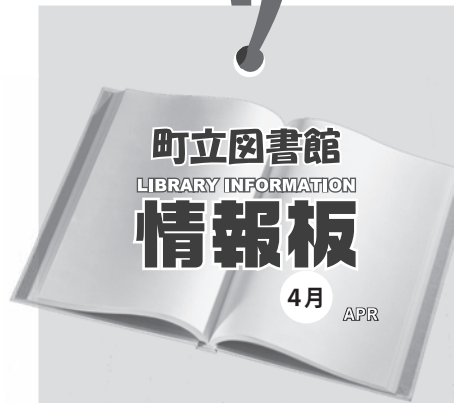




4月のはくちょう号

◆期日 4月10日(木)、24日(木)
◆時間・コース

到着時間	場 所
10:30	特別養護老人ホーム やまつつじ
11:05	ラポール・レイゾン (寺内医院)
11:40	グループホーム ヴィラ
13:40	町福祉センター
14:20	グループホーム つむぎの里
15:00	長柄公民館

4月の休館日

7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)、
30日(木)
※30日(木)月末整理日

キッズクラブ「読み聞かせ」

▶期日 4月26日(土)
▶時間 午後2時～

オリーブ「読み聞かせ」

▶期日 4月10日(木)、17日(木)、
24日(木)
▶時間 午前11時～

4月の図書館映画会

●図書館名画座

期 日	開始時間	上映作品名
20日(日)	14:00	歩いてても歩いても (114分)

●金曜映画会

期 日	開始時間	上映作品名
4日(金)	14:00	バックトゥザフュー チャー パート2 (108分)
18日(金)	14:00	ふるさと (106分)

●子ども映画会

期 日	開始時間	上映作品名
12日(土)	14:00	よりぬき キテレツ大百科 ーキテレツ編 (100分)

▶会場・問合先 町立図書館



教育の不易と流行

昨今、国の教育改革が進み、その内容が話題になっています。道徳の教科化、英語活動の小学校3・4年からの授業への位置づけ、学校教育へのICT導入、全国学力・学習状況調査の公表と学力向上の問題、学校防災・減災の充実、教育委員会の制度改革、子ども子育て新制度の問題など課題が山積しています。教育にとって、何が、基本・本質であり重要であるか、いわゆる、教育の不易の部分をしっかり見極め、教育行政・教育活動に取り組むことが大切です。学校教育では、①生きて働く確かな学力の定着、②人間としての豊かな心の育成、③安全対応力・健康や体力の増進。社会教育では、青少年から高齢者までの各時期に応じて、すべての町民が学び合い、高め合える場や事業などを提供することが求められます。制度や形の追求、流行に流されることなく、具体的に手立てを講じ、子どもたち・町民が学びを通して「成長」や「生きがい」という喜びや実感を得られるよう取り組んでいきたいと考えています。(教育長 大竹喜代子)



渡良瀬川学習

高島小学校では、国土交通省とスクールボランティアの皆さんの協力で、3年生から6年生までが総合的な学習の時間に、渡良瀬川を中心とした川学習という自然体験学習を行っています。3年生は、多々良沼でのバードウォッチングやネイチャーゲームなどで身近な自然を体験します。4年生は、渡良瀬川でのジャングル体験や魚捕り、河原での石積みなど自然の素晴らしさを体験。5年生は上流・中流・下流の川に入り、川渡りや川流れをしたり、生き物や植物を調べたりして、自然の川の大きさを感じます。6年生になると上流域の足尾に行き、かつてどんなことがあったのかを実際目で見て学びます。渡良瀬遊水地にも行き、環境を守ることの大切さや自分たちの生活との関わりを勉強します。(児童会本部 新井涼真)



川学習で自然の素晴らしさを体験します



スポーツ大会結果

第14回 邑楽町武道大会

第42回柔道大会

小学1・2年生の部①松岡亮希③永井春輝 小学3・4年生の部①志村優充③栗原聡汰 小学5・6年生の部①小宮啓②松岡佑奈 中学生男子の部①高橋幸大②富田光之介③若目地鈴③谷津龍斗 中学生女子の部①外処茅優②清水咲良③濱田織那③佐藤葉月

第34回剣道大会

初心者②原田泰成③原田律 小学生低学年の部①高尾穂 小学生高学年の部①舟木皓基②堀越楓③久保田輪③吉岡貴大 中学生男子の部①小倉大和②神長康允③茂木暖人③米山琢也 中学生女子の部①黒田幸奈②前原望里③堀越麗③中里美乃莉 一般の部①橋本佳則②畠中孝雄③塩原幸徳③岩松雄志

第14回空手道大会

個人型小学生中学年の部①今泉ゆう②佐藤直③酒巻茉愛 小学生高学年の部①今泉ひかる②佐藤縁③小此木楓吾 一般の部②長嶋伸也③小倉丈治 団体型①スポ少(佐藤縁、小此木雪乃、今泉ひかる) ②スポ少(浅見陽花、小倉梨奈、小此木楓吾)



あなたの心と身体をリフレッシュ 生涯学習のページ

学校教育課 47-5040(直通) school-ed@swan.town.ora.gunma.jp	邑楽町公民館 88-1290	町立図書館 88-5900
生涯学習課 47-5043(直通) further-ed@swan.town.ora.gunma.jp	長柄公民館 89-0123	ヤングプラザ 89-1501
	町民体育館 88-5355	

邑楽町教育委員会



邑楽の歴史の謎に迫ってみよう 我が町おうら文化財探訪ツアー

長柄公民館では、我が町おうら文化財探訪ツアーを開催します。毎年人気のある講座で今年で5回目の開催になります。町には、先人たちの残した数多くの文化財があります。今回は、その中でも「隠れキリシタン」を中心に学びます。隠れキリシタンがいたかもしれないという邑楽町。それを表しているのか、キリスト教を象徴する十字架(クルス)が刻み込まれたといわれる石仏や墓石が見られます。文化財探訪ツアーに参加して、「隠れキリシタン」の謎に迫ってみませんか。



邑楽の歴史を見て聞いて感じてみませんか(平成24年度の文化財探訪ツアー)

我が町おうら文化財探訪ツアー

▼期日 ①4月25日(金)、②5月23日(金)、③6月20日(金)(全3回)
▼時間 午前9時30分～正午
▼会場 ①長柄公民館、②中野地区周辺、③長柄・高島地区周辺
▼内容 実地研修を中心に文化財を巡る学習と講義など
▼講師 大塚孝士先生(町文化財保護調査委員)
▼対象 18歳以上の人
▼定員 20人(先着順)
▼参加費 500円(資料代)
▼申込開始 3月28日(金)午前9時30分
▼申込・問合先 長柄公民館



自分にできる事



中野小学校6年 植松 優太

僕は、学校でペットボトルのふたがワクチンになる事を知りました。ほかの国では、ワクチンにより防ぐ事ができる病気でも、貧しくてワクチンを受ける事ができずに、たくさんの子ども達が病気になってしまっています。

今、僕は自分にできる事としてペットボトルのふたを集めています。家族が飲んだあとに、ふたを集めて台所においてある袋に入れます。ペットボトルのふたが、400個で10円になります。貧しい国では、20円で一人がワクチンを受ける事ができるそうです。だから、800個分のペットボトルのふたがあれば、一人

がワクチンを受ける事ができます。一人に、ワクチンを受けさせてあげるために800個のふたが必要だと考えると、たくさんの子ども達にワクチンを受けさせてあげるためには、どのくらい数のペットボトルのふたが必要なのだろうかと思えます。でも、僕一人ではたくさん数を集めるのは大変だけれども一人ひとりが少しずつでも協力してくれたら、たくさん数を集めるのにそれほど大変な事ではないと思います。

中野小学校でも、児童会が中心になって昨年からエコキャップ運動を始めました。各階のろうかに大きなケースが置かれています。みんなが集めるので、ケースがすぐにいっぱいになります。どの国でも、みんなが平等に幸せに生活できるようにすれば良いと思う願いを込めて、一人ひとりが行動できれば、きっと変わっていくと思います。

